

2. コート面数を増やすことによる効果

新総合体育館を整備するにあたり、関係団体からのヒアリング結果を基に、大会開催時の関係者にかかる労務的負担の軽減及び大会参加者の機会創出という観点から経済的効果を整理する。

下記において、新総合体育館における各競技のコート面数は、現在検討しているもののうち、最大の寸法の場合を記載している。（メインアリーナ 46.5m×74m = 3,441 m²、サブアリーナ 31m×46m = 1,426 m²）

(1) ハンドボール

現総合体育館	新総合体育館
2面（公式寸法×）	3面+1面（公式寸法○）

◎小学生 市内1チームであるため現総体で他市チームと交流試合を行っている。（高学年男子、高学年女子、低学年の3カテゴリーがある）正規は前半15分－休憩10分－後半15分だが、前後半なしの1本12分～15分にしている。施設予約の競合により1日しか確保できていない。
⇒ 正規とはいかないが、試合時間を長くすることができる。

◎中学生市大会 大会は2日間かけて行うが、施設予約の競合により現総合体育館は1日しか確保できないため、もう1日は中学校の体育館（非公式寸法1面）を利用している。正規は前半25分－休憩15分－後半25分だが、前半20分－休憩10分－後半20分にしている。
⇒ 1日目は3面、2日目は2面を確保できれば正規の時間でトーナメント戦での試合を実施できる。それ以上確保できれば正規の時間でリーグ戦での試合が実施できる。

◎中学生県大会 準決勝以降は前半25分－休憩10分－後半25分で、準決勝以外は前半20分－休憩10分－後半20分でやっている。（現総合体育館では取れる面数が少ないため、県大会はメモリアルセンターで実施されている（2面で4日間かかっている））
⇒ 県大会を開催できる可能性がある。（正規の試合時間を確保し、3日間で実施できる。）

(2) フットサル

現総合体育館	新総合体育館
使用不可	2面+1面

◎これまで使用できなかったフットサルが正規寸法で複数面とれるようになる。

(3) ソフトテニス

現総合体育館	新総合体育館
2面（公式寸法×）	4面+1面（公式寸法○）

◎中学生市大会 現総体では、エントリーを各中学校5ペア以内に抑え、2日間（女子1日、男子1日）でインドア大会を行っている。（屋外大会は各校9ペアの参加としている）また、正規試合が7ゲームのところ、5ゲームに短縮している。

⇒ 4面確保できれば、各校9ペアが参加できる。また、準決勝以上など一部の試合において7ゲームで実施できる可能性がある。

◎シニア大会 1日でインドア大会を行っているが、一定の実力がある人のみに参加を制限している。
⇒ 4面確保できれば、希望した人全員（現時点）が参加できる大会を開催できる。

(4) バスケットボール

現総合体育館	新総合体育館
4面 (公式寸法×)	3面+1面 (公式寸法○)

◎ 正規のコート寸法、余幅を確保できる。

(5) バレーボール

現総合体育館	新総合体育館
4面	3面+1面

◎ より広いフリーゾーンを確保できる。フリーゾーンの外にウォームアップエリアを確保できる。

(6) バドミントン

現総合体育館	新総合体育館
12面	20面+6面

◎ 市大会において、正規試合が 21 ポイント 3 ゲームのところ、中・高ともに 21 ポイント 1 ゲームに短縮している。

⇒ 正規でできるようになる。

◎ 県中学生大会において、エントリーを各校 8 名 (男子 4 名、女子 4 名) に制限している。

⇒ 参加人数を倍にできる。

◎ 県高校生大会において、男子 1 日、女子 1 日の 2 日間で行っている。

⇒ 1 日で終わることができる。

◎ 地区大会において、中・高ともにエントリーをダブルス各校 8 組 (男子 4 組、女子 4 組) までと制限している。

⇒ 参加人数を倍にできる。

(7) 卓球

現総合体育館	新総合体育館
16面	30面+12面

◎ 30 面確保できると県大会以上の大会を開催できる可能性がある。(現総合体育館では取れる面数が少ないため、県大会以上を実施したことがない)

(参考1) メインアリーナの寸法・面積と主な競技別コート数の関係

長手 短手	69m (バスケットボール 3面)		71m (テニス 4面)		74m (ハンドボール 3面)	
	38m (バスケット)	① 2,622 m ² ・バスケットボール ・テニス ・ハンドボール ・フットサル	3面 1面 1面 1面	—	—	—
40m (テニス)	② 2,760 m ² ・バスケットボール ・テニス ・ハンドボール ・フットサル	3面 <u>3面</u> 1面 1面	③ 2,840 m ² ・バスケットボール ・テニス ・ハンドボール ・フットサル	3面 <u>4面</u> 1面 1面	—	—
46m (ハンド) (フットサル)	④ 3,174 m ² ・バスケットボール ・テニス ・ハンドボール ・フットサル	3面 3面 <u>2面</u> <u>2面</u>	⑤ 3,266 m ² ・バスケットボール ・テニス ・ハンドボール ・フットサル	3面 <u>4面</u> 2面 2面	⑥ 3,404 m ² ・バスケットボール ・テニス ・ハンドボール ・フットサル	3面 4面 <u>3面</u> 2面

※()にその寸法の基準となる競技名を記載

※下線部は寸法を拡大することにより面数が増える部分

※基本構想で想定していたメインアリーナの寸法は 3,000 m²

(参考2) 概算施設整備費について

各務原市新総合体育館整備基本構想において、事例より算出した概算施設整備費は、m²あたり50～60万円程度である。(以下の表は各務原市新総合体育館整備基本構想より引用)

表 3-7 事例による概算施設整備費の算出結果

	延床面積	m ² あたり単価	試算結果
A案	約 19,000 m ² ～20,000 m ² 程度	59.0 万円/m ²	約 112 億円 ～118 億円程度
B案	約 12,000 m ² ～13,000 m ² 程度	56.7 万円/m ²	約 68 億円 ～73 億 7 千万円程度
C案	約 9,000 m ² ～10,000 m ² 程度	50.8 万円/m ²	約 45 億 7 千万円 ～50 億 8 千万円程度